

女性特有のがん対策が

大きく前進!

横浜市会議員 高橋まさはる

わが国では、女性特有のがんである乳がん検診受診率は14・2%、子宮頸がんは20%前後とOECD主要国で最下位という現状にあります。また、横浜市の乳がん検診受診率は9・5%、



最近20〜30歳代の若い女性に急増している子宮頸がんは、自覚症状が無い状態のため発見が遅れ、国内では年

間7000人が発症し、2400人を超す大切な命が失われています。

子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)に感染してから約10年かけて、がん細胞に変化する場合があります。定期的な検診を受けていけば、がんになる前に発見でき、初期の治療でほぼ100%治すことができます。その意味からも「早期発見、早期治療」が非常に重要です。

特定年齢の女性に

がん検診無料クーポン券

「女性特有のがん検診推進事業」は対象者のみならず、多くの方の思いにマッチしたものであると感じております。横浜市は市内居住の女性のうち、平成20年4月2日から平成21年4月

1日の間に20・25・30・35・40歳になった女性には子宮頸がん、40・45・50・55・60歳になった女性には乳がん(40歳の方は両方)の検診無料クーポン券を郵送します。無料クーポン券は平成22年3月31日まで有効で、同時に送られる市内検診機関一覧に示された委託機関で利用することができます。

また、対象年齢の方が、平成21年4月1日以降に横浜市内の乳がん・子宮頸がんの検診を受けた場合にも自己負担額全額が払い戻しとなります。詳しい手続き方法は、今後公表されます。

高橋まさはる プロフィール

- 1959年 岡山県倉敷市生まれ ●02年 東芝ソノオシステムズ㈱入社 ●03年 横浜市会議員に初当選し現在2期目
 - 公明党横浜市会議員団政務調査会長
- www.masaharu.info